

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年10月3日  
枚方市立中宮小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

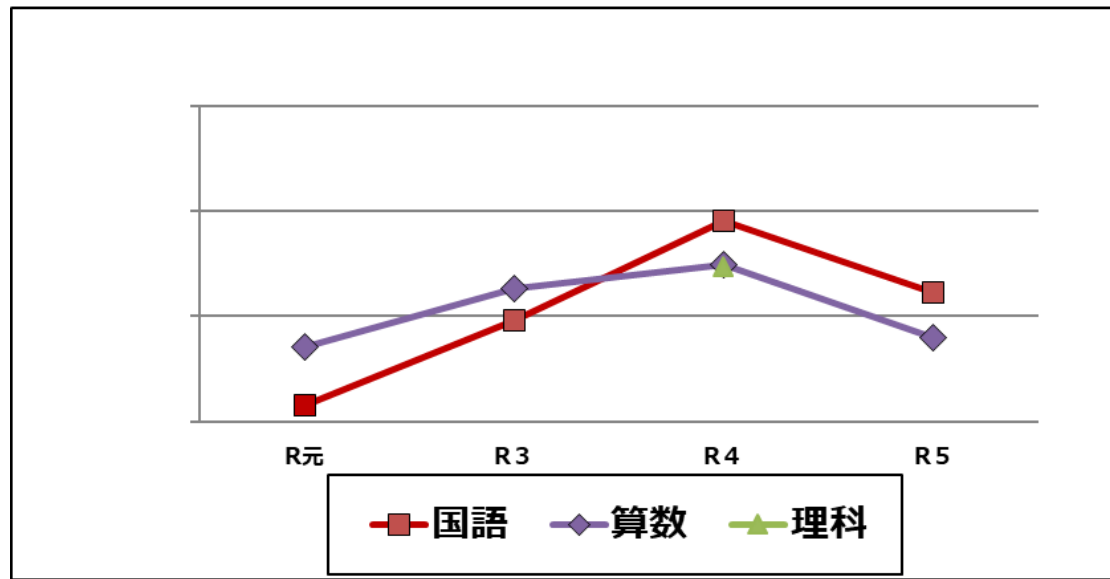
## 【全体概要】

### 学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、  
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

### (本校の経年比較)



※令和2年度は中止のため、掲載していません。また、理科は令和元年、令和3年度、令和5年度未実施の為、掲載していません。

### <学力調査結果の概要>

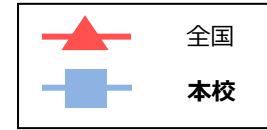
#### ○国語について

→平均正答率において、全国平均と共に前年度自校の成績を下回る結果となりました。記述問題・言語についての知識(文法等)に課題があることについては、前年度と同様です。

#### ○算数について

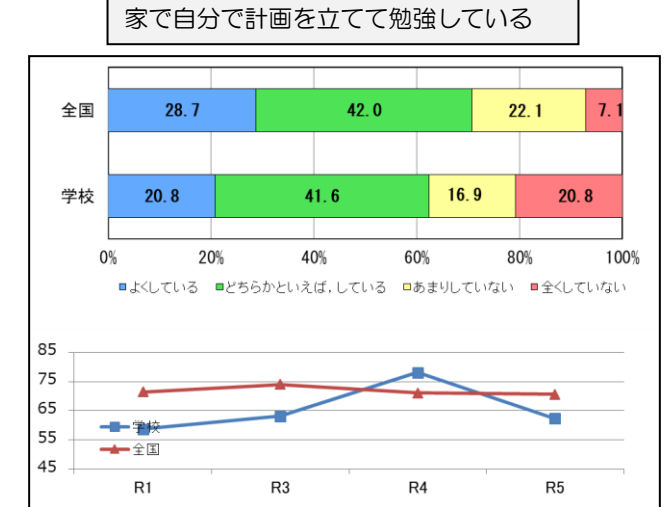
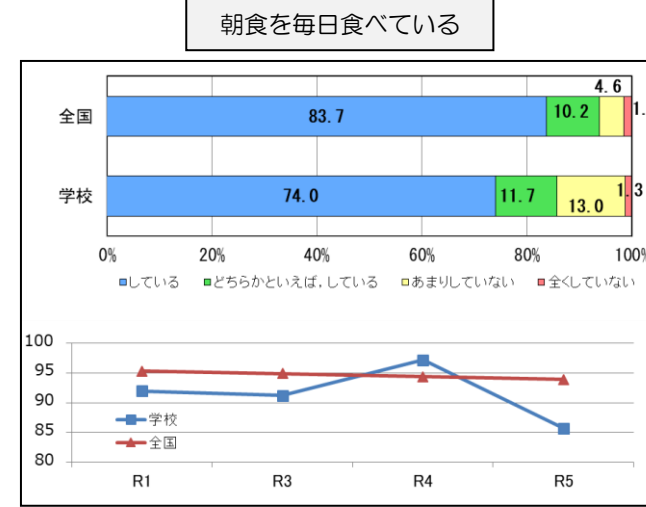
→平均正答率において、全国平均と共に前年度自校の成績を下回る結果となりました。記述問題・数学的な考え方に課題があることについては、前年度と同様です。

## 質問紙調査の結果

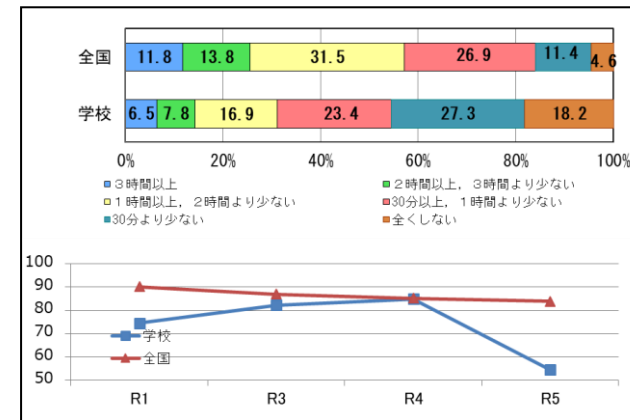


※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

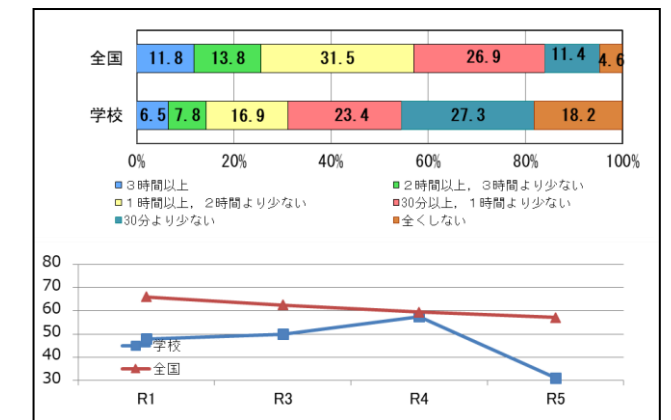
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



### 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか



### (30分以上)



### (1時間以上)

### <質問紙調査結果の概要>

前年度、生活習慣について大幅な改善が見られたところから一転、数多くの項目において下降が見られました。学力調査の結果を見ても、生活習慣が学力に及ぼす影響の大きいことが確かめられました。中でも、家庭学習時間の少なさが深刻な数値を示しています。家庭学習時間については、本校の大きな課題と捉えながら取り組みを進め、ここ数年改善傾向にありましたが再び下降を示しました。

今回、ほとんどの項目において自校前年度の結果を下回る数値を示しましたが、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」等、よりよく生きていく上で重要な項目においては、高い数値を維持することができました。

### まとめ

問題を読み取る力、記述問題への対応、説明する力などに課題が見られました。これらは、これまでの調査の課題と同様であるものの、大幅な正答率下降の傾向から見て、特に「問題を正しく読み取る力」が最重点課題と考えます。また、質問紙調査の結果から、家庭学習の量的質的充実を図っていかねばなりません。学校でのよりよい授業環境の維持を継続しつつ、保護者との連携協力がより一層必要なことが明らかとなりました。

# 【詳細について】

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

## 教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】

漢字を文の中で正しく使う

雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。

- 1 比らべて
- 2 比べて
- 3 比て

(2) その番号を書き直したものととして適切なものを、次の1から3までの中から一つ選んで、

1  
—  
三  
(2)

	正答率	無解答率
本校	97.1	2.9
全国	93.1	1.0

（考察）  
設問1-三(2)の問題のように、選択問題についての正答率は高い。本設問については、送り仮名に注意して答えることが求められているが、高い正答率から読み取りの力はあると考える。ただし、漢字の読み取り問題においても、漢字（熟語）の意味理解が必要な設問については、極端に正答率が下がる。漢字読み取り、書き取りの力と共に、その漢字のもつ意味についての理解力を高めるとより確かな力が身につくとと言える。

【課題】

情報や語句による関係付け、表し方の理解

- 1 自分にとって分からない言葉や四角や丸で囲み、運動と栄養素の動きと関係を確認して整理している。
- 2 自分にとって重要な言葉や四角や丸で囲み、食品と栄養素の動きとの関係を整理して整理している。
- 3 自分にとって分からない言葉や四角や丸で囲み、食品と栄養素の動きとの関係を整理して整理している。
- 4 自分にとって重要な言葉や四角や丸で囲み、運動と栄養素の動きとの関係を整理して整理している。

【資料3】 相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

**栄養素の働き**

規則正しく食事をするにより、体が活発に動いたり、好きなものをばかり食べていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーの源になります。

肉や卵などは、主に体をつくるものになります。

肉や卵がたっぷり、けがが治りやすくなります。

野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気にかかりにくくなります。

(栄養素の主な働きと食品の例)

主にエネルギーの源になる  
米、パン、バターなど

主に体をつくるものになる  
肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるものになる  
野菜、果物など

2  
—  
三

	正答率	無解答率
本校	47.1	1.4
全国	62.0	1.6

（考察）  
設問2-三の問題のように、同じ選択問題であっても、設問にいくつかの条件があったり、設問に直接的な関連のない情報が入っていたりすると、それに惑わされる傾向が見られる。本設問においては、問題文の本旨である「相田さんは、何をどのように整理していますか」の問いを読み取ることができず、誤答に至る児童が多かった。本文内容を読み取ることに以前に、問題文を正しく読み取る力が必要とと言える。

<算数>

成果や課題があった設問

【成果】

示された表から必要な数を読み取る

4- (2)

(2) あいちゃんたちは、5年生と6年生が30分以上の運動を週に何日しているのか調べてみたいと思い、委員会の活動として運動カードを作りました。

5年生と6年生に運動カードを配って、運動した時間を記録してもらいました。

運動カードを見ると、運動した時間の合計が30分以上になった日もなかった日もありました。

この運動カードで、運動した時間の合計が30分以上になった日数は、全部で何日ありますか。答えを書きましょう。

下の運動カードは、あいちゃんが5月9日から5月15日までの1週間、運動した時間を記録したものです。

日	運動した時間(分)				運動した時間の合計(分)
	5時～6時	6時～7時	7時～8時	8時～9時	
5/9	10			25	35
5/10	5		10	15	40
5/11	10		5	15	30
5/12	5		10		15
5/13	5			10	15
5/14		20	35		55
5/15	10		35		45

【課題】

二次元の表から、条件に合う数を読み取る

4- (4)

(4) のぞみさんたちは、30分以上の運動をした日数と人数を調べた結果について話し合っています。

5年生と6年生も、30分以上の運動をした日数が2日以下の人が多いですね。

2日以下の人は、運動があまり好きではないのでしょうか。

表を見ると、30分以上の運動をした日数が2日以下の人のほうが、あまり好きではない人より多いことは、表の中にあるどの数とどの数を見ればわかりますか。委員会で、みんなが運動を楽しめるような活動を考えよう。

30分以上の運動をした日数が2日以下の人の中でも、運動が好きなのほうが、あまり好きではない人より多いことは、表の中にあるどの数とどの数を見ればわかりますか。下のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 26と2
- イ 85と10
- ウ 85と26
- エ 111と12

アンケート調査の結果 (人)

運動	30分以上の運動をした日数		合計
	2日以下	3日以上	
好き	85	26	111
あまり好きではない	10	2	12
合計	95	28	123

	正答率	無解答率
本校	75.7	5.7
全国	75.7	4.3

（考察）  
設問4- (2)の問題のように「30以上」と、比較的単純で単一な条件のみが提示されている場合、正答率が高い傾向にある。

	正答率	無解答率
本校	52.9	7.1
全国	64.6	4.9

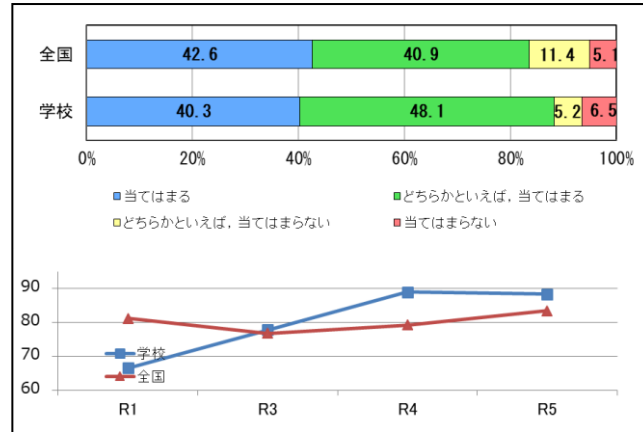
（考察）  
設問4- (4)のように表内の情報を読み取る問題であっても、求められている条件の難易度が少し上がると正答率は低くなる傾向にある。また、問題文やそのヒントとなるはずの文章提示によって、逆に混乱していることが伺える。普通は、ヒントとなる文を適切に読み取ることによって正答率が上がるはずのところ、本校児童は情報量の多さを難易度が高まったこととして捉えている印象を受ける。読解力を高めることが必要とと言える。

## 質問紙に関する調査

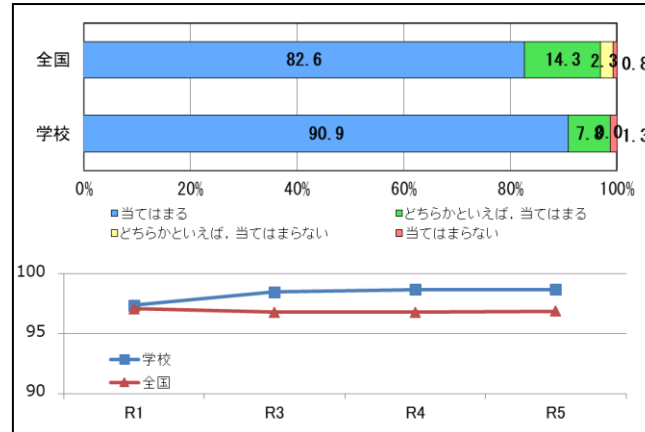
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

### 【成果のあった項目】

自分には、よいところがあると思う

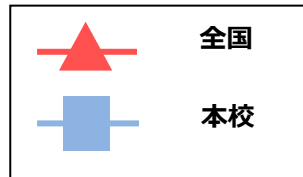


いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



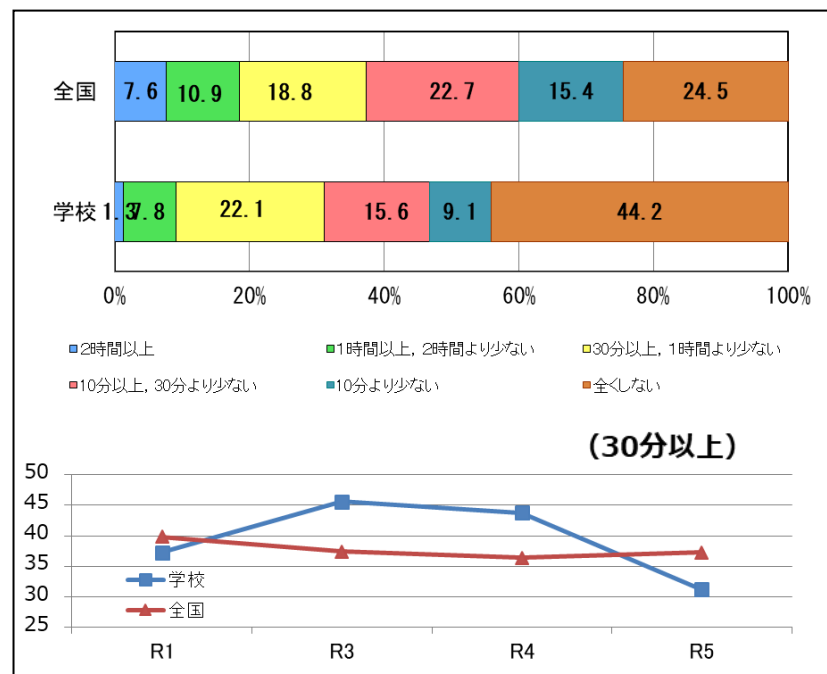
(考察)

全国的に若者の自己肯定感の低さが課題となるなか、本校の児童においては、「自分には、よいところがあると思う」の質問に対して高い数値を示している。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の質問についても、肯定的回答の高い数値を維持している。

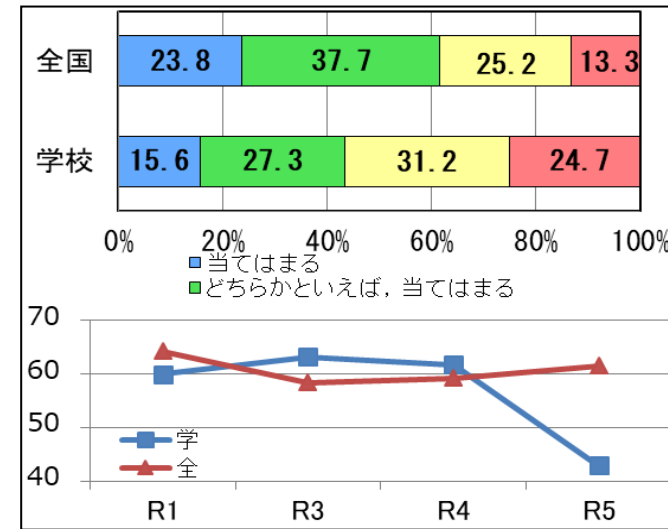


### 【課題が残った項目】

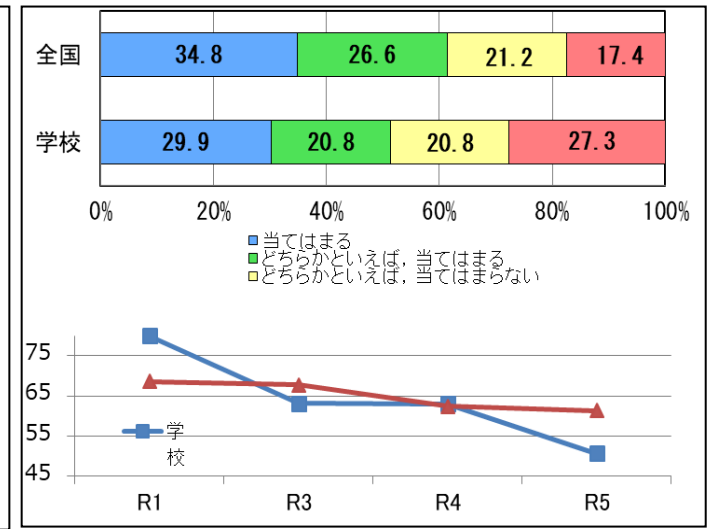
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



国語の勉強は好きだ



算数の勉強は好きだ



(考察)

読書量の少なさ、家庭学習の少なさを、改善すべき最重点課題として取り組んできたが、共に大幅な下降が見られた。学習に対する意欲についても、本年度の数値から、読書嫌いが勉強嫌いの大きな要因になっていることは否定できない。また、今回の結果分析から文書読解力の乏しさが、正答率の低さに繋がったことは確かである。本学年および本校の最大の課題として、改善に取り組んでいかなければならない。

## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

令和元年度から前年度までの全国学力学習状況調査における調査結果より、学校全体として学力が向上していると捉えていました。ただ、本年度の結果から、これまでの指導を修正する必要があると考えます。

具体的には、指導の充実を目指すため学習指導広範囲における工夫改善を実践してきましたが、一点集中の取り組みが必須と考えます。また、学力向上は保護者との連携協力が不可欠であり、学校における授業と家庭での学習の両輪がかみ合っこそ実現するものです。下記の内容を参考に、今後とも子どもたちが家庭において、意欲的・継続的な学習に取り組むようご協力をお願いします。

### (1) 授業改善について

【問題を読み取る力】を身に付けるために、国語科を中心に主語と述語を正しく読み取ること、言葉の意味を理解することなどについて集中して取り組んでいきます。

### (2) 家庭学習について

ICT (タブレット) の活用を進めることで、【家庭学習の時間を増やす】ように取り組んでいきます。長期休み前には、全学年の自主学習ノートタブレットで共有し、自主学習の更なる取り組みにつなげていきます。

### (3) その他

【既習学習の定着】に力を入れるため、令和3年度から実施している2つの取り組み (①朝学習-計算の日、漢字の日 ②新聞の取り組み) を継続していきます。

